

## 1. 病理専門医・口腔病理専門医資格の更新について

病理専門医・口腔病理専門医資格更新の本年度該当者には、学会事務局より必要書類を送付いたしました。更新該当者であるにもかかわらず、必要書類が送付されていない場合は、事務局までご連絡ください。専門医資格が保留の方で、本年度に復帰の申請を希望される方は、日本病理学会事務局までご連絡下さい。必要書類を送付いたします。

提出締め切り：2020年10月31日(土)消印有効

※更新のご希望がない場合も、必ず事務局宛にご一報下さい。

## 2. 令和2年/2020年度 第1回分子病理専門医試験の申請について

### 1) 出願資格

- (1) 日本病理学会会員であること。
- (2) 出願時に病理専門医であること。
- (3) 日本病理学会主催のゲノム病理標準化講習会を受講していること。
- (4) 日本病理学会主催の分子病理専門医講習会を受講していること。
- (5) エキスパートパネルに参加していること。

### 2) 分子病理専門医試験出願書類

- (1) 分子病理専門医試験願書  
(5×4 cm 写真1枚を指定箇所貼付のこと)  
※書式はHPよりダウンロード
- (2) ゲノム病理標準化講習会 受講修了証(写しでも可)
- (3) 分子病理専門医講習会 受講修了証(写しでも可)
- (4) エキスパートパネル参加証明書  
(3回以上の参加が必要。写し不可)  
※書式はHPよりダウンロード
- (5) 受験手数料の振込受領証のコピー

3) 出願期間：令和2年(2020年)9月1日より令和2年(2020年)9月30日まで(消印有効：厳守)

4) 受験手数料：40,000円  
(資格審査料10,000円 試験料30,000円)。

申請時前納のこと(納付方法は注意事項③を参照)。

5) 試験実施日：令和2年(2020年)12月20日(日)

6) 試験会場：TOC有明 コンベンションホール4階  
〒135-0063 東京都江東区有明3丁目5-7

### 7) 試験時間：

10時～11時30分 I型(選択問題：マークシート)

13時～15時 II型(記述問題)

### 8) 資格認定料：10,000円

※合格者には後日請求いたします

### 9) 認定証交付日：令和3年(2021年)4月1日

### 10) 試験願書等書類送付先

(受付期間：2020年9月1日より9月30日)

〒113-0034 東京都文京区湯島1-2-5

聖堂前ビル7階

日本病理学会 分子病理専門医出願書類受付係 宛

TEL: 03-6206-9070

E-mail: jsp-admin@umin.ac.jp

※書類は折り曲げずに角2封筒に入れ、書留郵便・レターパック等、配達記録が残る形態でお送りください。

※到着状況は送り状番号等より各自でご確認ください。病理学会からは到着連絡は致しませんので、送り状番号を必ずお控えください。

※病理学会事務局からの郵送物は、会員システムに登録の送付先へ送ります。

### 【分子病理専門医試験出願に関する注意事項】

書類不備の場合には出願が受理されないことがあります。出願に当たっては以下の点にご留意してください。

#### ① 分子病理専門医試験願書

(a) 別紙「記載例」を参照してください。

※書式はHPよりダウンロード

(b) 貼付する写真は眼鏡をかけて受験する者は眼鏡をかけた状態で撮影し、5cm×4cm大、最近3か月以内の半身・正面・脱帽のカラー写真としてください。

(c) 貼付する写真の裏には、必ず氏名を記入してください。

(d) 照合用に使用しますので願書の文字は、はっきりと記入してください(ワープロ等での記入推奨)。

#### ② その他の提出書類について

(a) 受験結果にかかわらず、出願書類は一切返却いたしません。

(b) エキスパートパネル参加証明書は、必ず原本を提出してください。第2回以降の受験の場合には、直近の1年間の参加証明が必要になります。

例：第2回 分子病理専門医試験受験の場合

2020年10月1日～2021年9月30日までの期間で3回以上の参加証明が必要。第3回以降も同様。

③ 受験手数料:

納入期間 2020年9月1日～2020年9月30日(厳守)

納入期間外のお振り込みは受け付けません。

下記の口座に必ずご本人名義でお振込みください。

振込手数料は各自でご負担ください。

施設名でお振り込みの場合は、病理学会宛にメール

(jsp-admin@umin.ac.jp)でご連絡ください。

【振込口座】みずほ銀行 本郷支店 普通 1153880

一般社団法人日本病理学会

【受験手数料】40,000円

※受験資格が認められなかった場合、試験料30,000円

から振込手数料を差し引いた額を返金致します。

参照 HP:

<https://pathology.or.jp/senmoni/20200401mp-info.html>

3. 第66回(令和2年度)秋期特別総会学術研究賞演説(A演説)の選考について

第66回秋期特別総会(令和2年11月・浜松)学術研究賞演説(A演説)については、24題の応募があり、5月15日の学術委員会で選考が行われ、5月25日の理事会にて以下の通り9題が選考されました。同総会にて講演が行われ学術研究賞が授与されます。

- ・予後不良肺腺癌の分子基盤に関する研究  
奥寺 康司(横浜市立大学・医学部・病態病理学講座)
- ・転座関連肉腫における遺伝子転座の病理学的意義に関する研究  
山田 裕一(九州大学形態機能病理)
- ・小児固形腫瘍の遺伝子異常と腫瘍発生機構の解析  
大喜多 肇(慶應義塾大学医学部病理学教室)
- ・精密医療の実現を目指した胃癌における分子プロファイルとその不均一性に関する検討  
桑田 健(国立がん研究センター東病院 病理・臨床検査科)
- ・酸化ストレスから見た発癌機序の分子病理学的解析と臨床応用への試み  
内木 綾(名古屋市立大学大学院 医学研究科 実験病態病理学)
- ・アスベストによる中皮細胞傷害と発がん機構の解析  
岡崎 泰昌(名古屋大学大学院医学系研究科 生体反応病理学)
- ・濾胞性リンパ腫のゲノム異常と臨床病理学的意義の解明  
加留部 謙之輔(琉球大学大学院医学研究科細胞病理学講座)
- ・スキルス胃癌における間質細胞ネットワークの解析  
田中 正光(秋田大学大学院医学系研究科 分子生化学講座)
- ・頭頸部扁平上皮癌の発生におけるp53-p16/RB経路制御機構異常

森 泰昌(国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院 病理診断科)

4. 第66回(令和2年度)秋期特別総会症例研究賞演説(B演説)の選考について

第66回秋期特別総会(令和2年11月・浜松)症例研究賞演説(B演説)については、9題の応募があり、5月15日の学術委員会で選考が行われ、5月25日の理事会にて以下の通り3題が選考されました。同総会にて講演が行われ症例研究賞が授与されます。

- ・小唾液腺乳頭嚢胞状腫瘍の遺伝子異常と疾患概念の再構築  
中黒 匡人(名古屋大学医学系研究科臓器病態診断学)
- ・薬剤関連の進行性多巣性白質脳症(PML):脳生検にみられる初期病変の特徴  
宍戸-原 由紀子(京都府立医科大学 分子病態病理学)
- ・ALK転座型腎腫瘍12例の臨床病理学的検討  
黒田 直人(高知赤十字病院 病理診断科部)

5. 第21回(令和元年度)学術奨励賞の選考について

第21回(令和元年度)学術奨励賞については、17題の応募があり、7月3日の学術委員会で選考が行われ、7月7日の理事会にて以下の通り10題が選考されました。

- ・組織形態像に立脚した、多段階発がん過程ならびにがんの悪性度に呼応した遺伝子、糖鎖修飾の変化の検討  
山ノ井 一裕(慶應義塾大学医学部 病理学教室)
- ・胃癌(特にEBV関連胃癌)における腫瘍免疫の病理学的解析  
阿部 浩幸(東京大学大学院医学系研究科人体病理学・病理診断学教室)
- ・肝胆膵領域腫瘍の形態学的変化・分子学的背景の新たな統合パラダイム  
林 玲匡(東京大学医学部附属病院 病理部)
- ・大腸癌の増殖を促進する新たな癌代謝経路の同定  
大島 健司(大阪大学大学院医学系研究科 病態病理学講座)
- ・細胞分裂関連因子STIL(SCL/TAL1 interrupting locus)の癌細胞遊走における機能解析  
伊藤 秀明(愛知医科大学医学部病理学講座)
- ・精巢胚細胞腫瘍の発生・進展過程における分子基盤の解明  
宮居 弘輔(防衛医科大学校 臨床検査医学講座)
- ・胃癌の分類・診断最適化に向けたゲノム病理学的解析  
六反 啓文(東京大学医学部附属病院 病理部)
- ・遺伝子異常と病態をつなぐ癌特異的代謝機構の分子病理学的解析  
増井 憲太(東京女子医科大学 病理学・病態神経科学分野)
- ・ヒト疾患における局所炎症環境形成機構の形態および機

能病理学的解析

久保 輝文 (札幌医科大学医学部 病理学第一講座)

- ・胆膵癌の発癌過程解明と予後予測因子の同定  
田中麻理子 (東京大学医学部附属病院病理部)

以上、応募順

## 6. 日本病理学会 100 周年記念病理学研究新人賞授賞の御報告

令和元年度は、8名の応募者があり、委員会のすべてのメンバーの確認による1次審査の後に、8名全員が2次審査に臨みました。

本年度は第109回日本病理学会がCOVID-19に伴いオンライン開催となったため、8月20日午後に別途設定されたオンライン会議で2次審査を実施し、以下3名の受賞が決定いたしました。

- ・GPI アンカー型タンパク質 CD109 は肺腺癌の間質浸潤の制御因子である  
滝 哲郎 (名古屋大学大学院医学系研究科 腫瘍病理学)
- ・AIRE による糖尿病抵抗性獲得機構の実験病理学的解析  
松本 穰 (徳島大学大学院医学研究科 疾患病理学分野)
- ・脳内で  $\beta$  アミロイドーシスを誘発する可溶性 A $\beta$  オリゴマーの解析  
箱崎 真結 (東京大学大学院医学系研究科 人体病理学分野)

## お知らせ

### 1. 【周知依頼】令和元年度 販売情報提供活動監視事業報告書について

標記の件につき、厚生労働省医薬・生活衛生局監視指導・麻薬対策課より周知依頼がありました。

関連 URL は下記の通りです。

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryou/iyakuhin/koukokukisei/index.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/iyakuhin/koukokukisei/index.html)

### 2. 令和2年度「医科器械史研究賞」について

本学会からの推薦を希望される場合は下記 HP を確認の上 10月5日までに学会事務局宛ご連絡下さい。

参照 HP: <http://www.jsmi.gr.jp/>

(一般社団法人日本医療機器学会)

問い合わせ先:

一般社団法人日本医療機器学会内

一般財団法人日本医科器械資料保存協会

〒113-0033 東京都文京区本郷3-39-15

TEL: 03-3813-1062

### 3. 先端バイオイメージング支援プラットフォーム (ABiS) オンライン支援説明会について

標記説明会が開催されます。詳細・申込方法は下記ページをご覧ください。

<https://www.nibb.ac.jp/abis/event/ev20200929>

日時: 2020年9月29日(火)

【第1部】支援紹介 13:00-16:30 (予定)

【第2部】支援相談 16:40-18:00 (予定)

問い合わせ先: 先端バイオイメージング支援プラットフォーム (ABiS) 事務局

〒444-8585 愛知県岡崎市明大寺町字西郷中38

Tel: 0564-55-7804 E-mail: [abis-office@nips.ac.jp](mailto:abis-office@nips.ac.jp)

担当: 丸山めぐみ (生理学研究所)

真野 昌二 (基礎生物学研究所)

ABiS オフィシャルサイト: <https://www.nibb.ac.jp/abis/>

### 4. 2020 年度教育セミナーおよび認定医試験開催方法の変更について

2020 年度教育セミナーおよび認定医試験の開催につきましては、新型コロナウイルス対策として、以下のとおり開催方法を変更いたします。

■教育セミナー: Web 開催

■認定医試験: 全国5会場

(東京, 大阪, 札幌, 仙台, 福岡) にて分散開催

申込サイト: <https://www.jbct.jp/doctor/apply.html>

問い合わせ先: 日本がん治療認定医機構 事務局

〒160-0016 東京都新宿区信濃町35

信濃町煉瓦館5F

一般財団法人 国際医学情報センター内

TEL: 03-5361-7105 FAX: 03-5361-7091

E-mail: [c-info@imic.or.jp](mailto:c-info@imic.or.jp)